

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	福祉人間工学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	大箸純也						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における福祉の必要性について生物学的観点から知る ・障害、さまざまなヒトによって社会が構成されていることを知る ・子供に対する安全確保の概略を知る ・老化の問題とその対応方法について知る ・視覚、聴覚、運動などの機能障害および知的障害における問題と対策を知る 						
日程と内容	<p>9月19日 授業概要、福祉人間工学と経営、幸福について</p> <p>9月26日 ノーマライゼーション、障害についての考え方（属性として、分類）</p> <p>10月03日 障害の考え方（高齢者、一時的な能力低下）、障害者を支援する法：ADA、バリアフリー新法、総労働力</p> <p>投資法、障害者雇用促進法</p> <p>10月10日 生物の進化から見たヒトの障害の考え方。共感を持つために</p> <p>10月17日 障害者雇用の支援。成長の特徴。子どもの安全、事故事例、チャイルドプルーフ、ライター例</p> <p>10月24日 安全基準、リスクとハザード。知的障害：定義、原因、一般的対応・特徴、発達障害：概要、</p> <p>広汎性発達障害の特徴</p> <p>10月31日 発達障害のビデオ（就労）と前半の演習試験</p> <p>11月07日 発達障害（ADHD、職場での対応）、高齢者（寿命、国際比較、死因）</p> <p>11月14日 寿命、老化での一般的な問題、形態的变化、骨に関する問題、廃用性症候群</p> <p>11月21日 筋の種類と高齢者での機能低下、歩行機能・手すり・段差、有酸素作業能力、生活活動能力指標</p> <p>11月28日 高齢者：視聴覚機能、体温調節、その他の機能、精神機能、事故</p> <p>12月05日 脊髄損傷</p>						
成績評価基準	定期試験	65%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	35%	計	100%			
授業到達目標の達成度	視覚障害・聴覚障害を扱えませんでした。その点では9割の達成度です。						
反省点	老化と発達障害の時間が長すぎたのでしょうか。						
来年度の計画	全体の時間配分を見直して、視覚障害・聴覚障害も簡単に触れることができるようにしたいです。						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>感想として「個人の考えが強く、それですすめている」に関するものが複数ありました。それは私の未熟さかもしれない。しかし、もしそんなに感じてもらえるのなら、それは私の考えを表すことができているということで、嬉しくも思います。知識としては、皆さんに公平で正確なものを提供しないといけません。しかし、社会は様々な考えがあって、成り立っています。そしてその考えには、一般的に許容される範囲があります。その範囲を超えると問題ですが、範囲内であるならば、そんな考えもあるのだということを頭に入れて下さい。でも、あなたが賛成する必要はありません。問題があると考えるなら、話し合ってください。それが社会であり、大学はその社会の場でもあります。</p>						
履修登録者数	102名	定期試験 受験者数	86名	合格者数	80名	合格率	93%